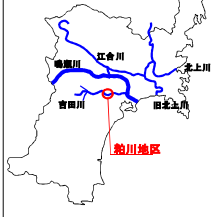


# 粕川地区復興まちづくり・堤防復旧 合同着工式（開催）

- 令和元年東日本台風で堤防決壊した吉田川粕川地区において、復興まちづくり事業（町）と堤防復旧工事（国）が同時に着工することから、令和3年9月26日（日）に合同着工式を開催（大郷町の関係者や住民など約50人が参加）
- 国土交通省と大郷町が連携して事業を推進し、地域の安全・安心の確保と、復興再生エリアのコミュニティ形成を目標とした環境整備を実施
- 住民代表は、『復興事業が一日も早く完成し、地元を離れてしまった方々が、再び笑顔でこの地に戻ってきてくれることが私の悲願であります』と期待の言葉を話した

宮城県



粕川堤防の決壊直後（2019年10月14日）

▲田中 学  
大郷町長 挨拶▲國友 優  
東北地整河川部長 挨拶▲赤間 正  
中粕川区長 期待の言葉

粕川地区堤防復旧イメージ図

粕川地区復興まちづくり・堤防復旧  
イメージパース

▲胴突き式の様子

# 挨拶 「粕川地区復興まちづくり・堤防復旧 合同着工式」



たなか まなぶ

## ■田中 学 大郷町長 挨拶

- 決壊箇所背後にある中粕川地区を中心に甚大な家屋の流失、浸水被害に見舞われましたが、日ごろの住民主体の自主防災組織活動をととした高い防災意識により、一人として尊い人命を失うことがないという、奇跡的な結果に繋がったことは、町として最大の喜びであります。この素晴らしい、自主防災組織活動の成果を、しっかり後世に残し、将来起こりうる自然災害対策の教訓としなければならないと、改めて、決意したところであります。
- 粕川地区6行政区の未来に向けたコミュニティ形成の核となり、更には吉田川川北地域の防災拠点としての機能を有した、斬新奇抜で、活気を取り戻す復興を目指し、国、県と力を合わせて、次世代から尊敬される事業を実施してまいります。



くにとも まさる

## ■國友 優 東北地方整備局 河川部長 挨拶

- 令和元年東日本台風の被害を踏まえて策定した「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」は、約270億円の予算を集中的に充当し、河道掘削、堤防整備等の取り組みを実施し、再び東日本台風と同規模の洪水が万が一発生しても氾濫を防止し、吉田川流域における浸水被害を少しでも小さくする事業を進めて参る所存でございます。
- 「粕川地区堤防工事」に本日着工させて頂くことが出来ますのは、ひとえに共に復興まちづくり事業を進めて頂いている地元大郷町の関係各位、とりわけ貴重な用地を提供頂く地権者の皆様方のご理解とご協力の賜と心から感謝を申し上げます。
- 今後とも出来るだけ早期に治水効果を発揮させることが出来るよう、精一杯頑張ってお参りますので、引き続き、皆様方のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



いしかわ よしひこ

## ■石川 良彦 大郷町議会 議長 祝辞

- これからこの事業を通しながら本地区が改めてそして新しい一歩を踏み出して、新しいこの地域が創られ、まちづくりに進んで行くものと確信しております。
- みなさんのお力が無ければ今日まで来なかったということは事実であります。この地域の発展を皆様と供に創って参るため、議会としても町もこの2年間災害復旧を第一課題として行って参りましたが、これからは新たな復興を目指し、さらなる素晴らしいまちづくりに皆さんと供に邁進していきたいと思っております。



あかま ただし

## ■赤間 正 中粕川地区区長 期待の言葉

- 堤防決壊から早2年の月日が経とうとしています。今でも住み慣れない仮設住宅での生活を余儀なくされている方々もいます。これまで、中粕川災害復興推進委員会では、国や町と復興の姿について幾度も話し合いを行い、ようやく本日の着工に至りました。復興事業が一日も早く完成し、地元を離れてしまった方々が、再び笑顔でこの地に戻ってきてくれることが私の悲願であります。
- 本日、ここに、国と町が一丸となり、堤防復旧と復興まちづくり事業に着手して頂けることは、歓喜の念に堪えません。今後、事業の実施にあたり、最後まで安全に遂行されることを切に祈念いたします。